



## XMPP サーバの設定

eXtensible Messaging and Presence Protocol (XMPP) は、ほぼリアルタイムの通信を実現するためのオープンな XML ベースの標準です。XMPP は、情報の配信でさまざまなプラットフォームにわたってほぼリアルタイムの通信を提供できるので、NPS コンポーネント間で使用する主要な通信と転送のプロトコルとなっています。

Jabber は、NPS ソフトウェアと同時にインストールされる XMPP の実装です。このモジュールでは、Jabber の設定について説明します。

NPS のインストールでは XMPP ソフトウェアはインストールされません。NPS のさまざまなコンポーネント間でリアルタイム通信を容易にする XMPP ソフトウェアをインストールする必要があります。あらゆるプラットフォームで動作する XCP の使用を推奨します。

- [XMPP サーバの設定, 1 ページ](#)

## XMPP サーバの設定

サービス解決を目的とした PE ルータ間の通信を容易にするために、Jabber を使用します。次のタスクで、システムにある PE ルータのいずれかで Jabber サーバを設定します。XMPP の pubsub プロトコルを使用してデバイスの機能を取得する際にも、機能ディレクトリ (CD) で Jabber を使用します。一般的には、サービス解決エンジン (SRE) をインストールした DCE-Facing PE に Jabber サーバをインストールします。

### 手順の概要

1. **jabber server**
2. **domain** *domain-name*
3. **ipaddr ipv4** *ip-address*
4. **log-level** *level*

## 手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<b>jabber server</b>  例： <pre>switch(config)# jabber server</pre>	ルータで XMPP サーバを設定する Jabber コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<b>domain domain-name</b>  例： <pre>switch(config-jabber)# domain ccnsr.com</pre>	Jabber サーバのドメイン名を指定します。
ステップ 3	<b>ipaddr ipv4 ip-address</b>  例： <pre>switch(config-jabber)# ipaddr ipv4 172.16.0.2</pre>	Jabber サーバに使用する IP アドレスを指定します。
ステップ 4	<b>log-level level</b>  例： <pre>switch(config-jabber)# log-level info</pre>	表示する通知を指定します。表示されるオプションには、次のものがあります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>debug</b></li> <li>• <b>error</b></li> <li>• <b>info</b></li> <li>• <b>verbose</b></li> <li>• <b>warn</b></li> </ul>

## 次の作業

SRE を設定します。